

●体験キャンプでサバイバル気分●

海洋教室やグラウンドゴルフなど多彩な催し

ふれあいフェスティバル

ふれあい坂田池公園を会場として、7月23日、24日「ふれあいフェスティバル」が開催されました。

今年初めての試みとなったこの催しは、豊かな自然の中で、子どもからお年寄りまで、大勢

の人を楽ししい一時を過ごしてもらおうと、ふれあいフェスティバル実行委員会が主催したもので、老人クラブや婦人会、青少年相談員など13団体の協力で実施されたものです。

23日から1泊2日で行われたのは体験キャンプ。当日は朝から太陽がキラキラと照りつける真夏日となりましたが、参加した23人の小学生は、テントの設営や青竹を使っての炊飯・はしづくり、キャンプファイヤーなどでサバイバル気分を存分に味わいました。

もあって、会場は家族連れなどで賑わっていました。

また、この日かき

氷などのサービスを行ってくれた青年団が、会場での募金活動で集まった7420円を福祉のために役立ててくださいと町社会福祉協議会へ寄付してくださいました。



「その棒を差し込んで」……テント張りに挑戦する子どもたち

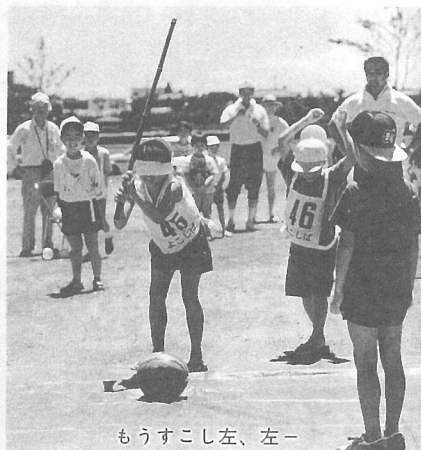
メインとなった翌24日は、お年寄りと子どもたちのグラウンドゴルフ大会や海洋クラブによる親子海洋教室、子どもたちに人気のすいか割り・宝さがしなど多彩な催しが行われ、夏休みに入って最初の日曜日となったこと



パドルさばきも軽やかに……



賞品のすいかに思わずニコリ グラウンドゴルフ大会



もうすこし左、左—

文芸

俳句

わが銃も解きし日なるや敗戦日

鈴木 草庵

師の前に来て外しけりサングラス

鈴木 南知

髪濡れし水着の胸の豊かさに

戸村 静華

米とぎつ遠蛙きく外流し

海保 きみ

片蔭や庇の深き蔵の街

勝又 和徳

真珠とる伊勢の海女衆白水着

山口 一秋

水打てば一陣の風庭の景

若梅あやめ

腹切や癒えゆく日々の句も弾み

玉虫たけし

サングラス老も洒落っ気失わず

藤代 ゆう

白粥に日々の味あり柿青く

選者 土屋 栗水

短歌

抱く子のかげの葉とブラジルの女性
性は庭の白薔薇ねだる

秋葉 悦子

軍服の遺影の夫に語りつつをみな
の曾孫抱きて見せたり

秋葉 とく

人の手に幾代育てて来しならむ木
曾路は深き山なみつづく